

【8月7日（金）臨時朝礼での話】

みなさん、おはようございます。

いよいよ明日から、16日間の短い夏休みに入ります。

長かった臨時休業。自宅での勉強。6月からの学校開始。新しい学年、クラス、友だち、担任の先生。夏休み期間の授業。

新型コロナウイルスの感染拡大により、何もかもが、みなさんにとっても、先生にとっても、家族にとっても、初めての体験ばかりの半年でした。

手洗い、マスクの着用、ソーシャルディスタンスなど、「with コロナ」の学校生活にも少しずつ慣れ、いよいよ明日から夏休み。しかし、新型コロナウイルスの感染の第二波が来ていて、愛知県には独自の緊急事態宣言が出されました。愛西市の感染者も増加しています。いつ、どこで誰が感染するか分からない状況になっています。この夏休みも県をまたぐ移動をできるだけ避けるよう、外出を控えるようにしたいですね。

テレビや新聞では、コロナの感染者が出ると、「感染したのはどこの誰なのか」「感染させたらどうしてくれるんだ」「ここから出て行ってほしい」など、コロナに感染した人を攻撃したり、差別したりする人たちのことが取り上げられています。

でもみなさん、よく考えてみてください。感染のリスクが高い場所に出かけて行って雇った人もいるかもしれませんが、十分に気を付けて生活をしていても雇ってしまった人たちもたくさんいます。もし、先生やみなさんの中で感染者が出たとします。日頃からマスクも着用して、手洗いもちゃんとしています。どの人も雇りたくて雇った人ではありませんね？日頃の生活にどんなに気を付けていても、雇ってしまうことがあるのです。悪いのは「コロナウイルス」であって「コロナに感染した人」ではないのです。

もし、自分が感染してしまったら、みなさんは周りの人にどんな風に言葉をかけてほしいですか？

先生は、「気を付けていたのに残念ですね。早く元気になってください。お大事に。」と言わたいです。感染してしまったという事実も辛いのに、「あの人コロナになったんだって」「絶対に学校に出てきてほしくないよね」などと、攻撃されたり差別されたらとても悲しいです。

みなさんには、「もし自分だったら…」と相手の立場になって考えて、行動したり言葉をかけたりできる人になって欲しいと先生は願っています。「with コロナ」の生活の中でも、人を思いやる温かい気持ちだけは決して忘れないでください。

短い夏休みですが、交通事故や水の事故などに遭わないよう、交通ルールを守ったり、家族や大人の言うことをしっかりと聞いて、健康で安全な生活を送るように心がけてください。

そして、出かけるときはもちろん、家族との普段の生活でも「手洗い、マスク、ディスタンス」を意識して、感染予防に努めてください。

いろいろと制限がある中での生活が続きますが、限られた状況の中で何ができるかを工夫しながら、「楽しい思い出がたくさん残る夏休み」にしてほしいと思います。そして、24日の月曜日に、元気な笑顔のみなさんに会えることを楽しみにしています。

以上で校長先生のお話を終わります。